

【团体支援寄附】

—全8事業（8団体）—

特定非営利活動法人 奈良県不動産コンサルティング協会

奈良市朝日町1-3-5

【事業名】

不動産の無料相談会

【補助金額】

50,445円

補助事業の実施内容

不動産無料相談会を平成30年6月と12月に県内4会場で開催し、56組の多様な案件に対応し問題解決の助言ができました。相談内容は相続・贈与関係が21件、有効利用が7件、売買及び登記関係が各々6件等々の順となりました。

今後の活動に向けて

不動産（土地・建物等）に関する諸問題をかかえた方々に対して会員の不動産コンサルティングマスター・弁護士・税理士・司法書士・不動産鑑定士・土地家屋調査士等がボランティアで問題解決に向けたアドバイスを続けていきます。

今後とも不動産に関する諸問題（空地・空家等）は多岐に渡り複雑化し、山積する傾向にあります。こうした問題の解決策は各分野のスペシャリストが共同で対応することが望まれます。しかし、この為には資金面等で労苦がありますが、NPO法人の理念に基づき活動を継続するよう努力します。



▲相談会

特定非営利活動法人 住民の力

高市郡高取町下土佐424-1

【事業名】

第13回町家の雛めぐり

【補助金額】

122,126円

補助事業の実施内容

高取町土佐街なみ一帯の商店や町家及びイベント会場等に雛人形を飾って観光客に住民との交流を楽しんでもらうイベントで色々な体験もできました。メイン会場周辺は花の寄せ植えを飾り早春を体感してもらうことができ観光客から好評をいただきました。

今後の活動に向けて

平成19年より、高取町のシニア住民が旧城下町の歴史的景観を活用して、3月一カ月間「町家の雛めぐり」イベントを開催し、観光客を呼び込み、地域の活性化に取り組んできた結果、商店の廃業に歯止めがかかり、新規開店する商店も8店舗出てきました。

また、高齢者の生きがい創出等の福祉的効果もみられるようになってきました。

このイベントを続けることにより「高齢者が光り輝く高取町」としての認知度が上がり、都会のアクティブシニアの終の棲家として高取町への移住の促進に繋がりたいと考えています。

まずは交流人口から関係人口創出へ新たな取り組みをスタートいたします。



▲ 某町家の雛飾り

【事業名】

引退補助犬支援活動の啓発事業

【補助金額】

66,611円

補助事業の実施内容

引退した補助犬たちの医療費や介護用品の支援を行っております。この度の助成金により、会報55号を発行・配布させていただき、当協会の活動を会員や一般の方に啓発することができました。

*補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)

今後の活動に向けて

今後は、HP や募金箱をリニューアルするとともに、啓発活動(街頭募金・イベント等への参加・会報発行)に力を入れ、一人でも多くの会員や支援者及び団体を募りたいと思います。

また、補助犬への理解を深め、人の為に頑張っている補助犬たちに医療費や介護支援が行えるように頑張りたいと思います。



▲会報55号を発行し、発送作業を行いました

うさみみ会

桜井市戒重 250-5
ヒラタビル3F(N-Piz内)

【事業名】

うさみみ会 お仕事・芸術 体験ワークショップ

【補助金額】

190,000円

補助事業の実施内容

支援を必要とする(障がいを持った)子どもたちをはじめ、地域のお友だちに向けて「本物」や「プロ」の方に触れることができるお仕事・伝統体験ワークショップを開催しました。

実際に職業として活動している音楽家の方や飲食店の店主様などに協力を頂いています。活動内容は、

和菓子屋さん編 「上生菓子作成(2個)」

レストラン編 「パン作り、テーブルセッティング・マナーについて」

歌舞伎役者さん編 「歌舞伎化粧体験」

和菓子屋さん編や歌舞伎役者さん編では実際の道具をお借りし、レストラン編ではナイフ・フォークのテーブルセッティングや自分たちで料理をテーブルまで運ぶなど、より実際に近い形での体験をしています。

ワークショップの最後には質問コーナーを設け、お仕事そのものだけでなくマメ知識を教えてもらうなど、大人と子どもとが楽しくコミュニケーションを図る場にもなりました。

今後の活動に向けて

「障がいのある子もない子も」一緒に活動する場を、これからも続けていきたいと考えています。

今までもワークショップ・イベントを続けていますが、私たちが活動の目的にも掲げている「将来へつなげるコミュニティづくり」を実現するために、企業の方ともご協力をいただき、子どもたちにとって具体的に仕事や将来を描くことができるような体験ができるよう努めていきたいです。

また伝統体験についても、子どもたちに継承、そして発展につながるように活動を続けたいと思います。



▲お仕事体験 レストラン編

特定非営利活動法人 大和社中

五條市五條3丁目1-23

【事業名】

五條赤根活動事業

【補助金額】

190,000円

補助事業の実施内容

ニホンアカネの植替え作業や根の採取の仕方を実際に体験してもらうワークショップを開催しました。また染色家の吉岡幸雄氏による講演会や染色の体験講習会を開催し、染色の仕方や楽しさをより身近に体験してもらい、染色技術への関心を深めてもらいました。

市内の郵便局長会が栽培活動に協力していただけることとなり、コンテナに差し芽を行い各郵便局で育てる事業を開始しました。

今後の活動に向けて

コンテナ栽培による増産や、市内の郵便局会による栽培活動へのご協力など、ニホンアカネの増産を行うと共に、より多くの方にニホンアカネの存在を知っていただき、栽培の活動を広めつつ染色の知識を高め、日本の良き伝統を守り続けたいと思います。



▲ 染色家 吉岡幸雄氏による講演

一般社団法人地域未来エネルギー奈良

奈良市恋の窪一丁目2番2号

【事業名】

バイオマスを活用した地域づくり先進事例の視察調査および報告会の開催

【補助金額】

190,000円

補助事業の実施内容

送電線接続制約を受ける県東部南部では、熱利用による木質バイオマス活用が林業活性化の一役になると当法人では考え、天川村温浴施設の薪ボイラー事例の県内での水平展開を目指してきました。本補助事業の目的は、先進地を視察調査し報告会で共有し具体化することです。

調査地高山市では新エネルギービジョンを2014年に策定し、「自然エネルギー利用日本一の都市を目指す」方針が掲げられました。高山市が管理する温浴施設での「熱」の固定価格買取制度が木質バイオマス熱利用の支援策になっていました。熱電併給設備は、燃料の自動投入の機械化が不可欠で高価となり、燃料のペレットは使用する木材の樹種や材質や水分量、ペレットの長さなどの緻密さと安定供給が求められていました。高山市でも送電線への接続制約のある中で、排熱も活用し収益を上げることが不可欠でした。

発電や給湯・暖房の燃料には薪、木質チップ、木質ペレットなどがありますが、奈良県内では南奈良総合医療センターで県産木質ペレットによる給湯ボイラーが稼働し、天川村での薪の事例など複数あり、熱供給には現実性があります。一方で発電では、吉野木質バイオマス発電所（民間）で大規模な事例がありますが、小型発電設備を導入するには、県内製材業者や林業関係者、行政、金融機関、地元企業による密接な連携が求められます。

今後の活動に向けて

報告会では、天川村、上北山村などの自治体職員やNPOと調査者（川上村職員、東吉野村小水力発電会社社長、生協職員等）も参加し、具体的で専門的な意見交換が活発になされ、情報共有や県内関係づくりの場になりました。今後も関係者を結びつけるプラットフォームの役割を担っていきたいと思います。



▲ 高山市木質バイオマス熱電事業視察の様子

高畑自然教室

奈良市高畑町1349番地

【事業名】

春日山、能登川高畑流域の自然環境保全と里山づくりを通じた親子世代間交流事業

【補助金額】

190,000円

補助事業の実施内容

能登川の水質、水生生物の測定・観察の実施、能登川でのホテル鑑賞会を開催し、参加した80名もの地域の親子から、自然の姿に感動の声が上がりました。春日山原生林の植物、生き物、花の観察、「花散歩」を行い原生林の豊さを体感し記録しました。また春日山麓の県有杉林及びならやまの県有竹林を奈良県景観形成事業に協力して間伐整備を行い、その間伐杉、間伐竹を利用して「さとやまもっこ」工房で親子ものづくり活動、こどもさんから提案があったスライド式の本立て、鳥の巣箱の部材を用意して親子で自分の本立て、巣箱を作りました。間伐杉、竹で手作りのテーブル、椅子、縁台、竹スピーカーを制作、また地域協力事業として近隣の駐車場の移動式トビラの構築、有形文化財佐保会館の前庭竹垣を構築し大変喜ばれています。自然環境保全とそこから生まれる資源の活用のサイクルを形成しています。

今後の活動に向けて

自然環境保全は時間のかかるテーマです。まず継続活動が大切です。さらに近年気候変動による台風、豪雨など自然災害が自然環境に大きい影響を及ぼしていて、この記録も大切です。わたしたちのモットーは「元気だからボランティア活動できる、活動するから元気になれる」です。楽しく汗を流して事業ごとに反省会、懇親懇談会で話し合っています。元気なご意見番85歳から60代、これからは親子活動に参加している若い世代の力が大切です。電動工具、電動彫刻ユニットなどを使った間伐材活用木工活動などに親子で興味を持っていただいて、春日山原生林、能登川、里山、竹林の自然環境保全活動の次世代育成継続の努力を行います。



▲ さとやまもっこ親子木工活動 鳥の巣箱づくり

特定非営利活動法人日本こども支援協会

大阪市中央区上汐2丁目6-13
喜多ビル205号

【事業名】

妊娠SOSホットラインページ作成事業

【補助金額】

190,000円

補助事業の実施内容

虐待死の防止を第一の目的に養育が困難な妊婦には、関係機関と連携し里親など、別の方法を一緒に模索できるようサポートし、命を繋ぐホットラインとしてSOSページ作成を実施しました。

今後の活動に向けて

開設当初、認知度が低かったためか、なかなか相談が無く、予定外ではありましたが実施期間を延長し、ネット広告を使って認知を広めたところ徐々に相談が増え、3ヶ月で13件の相談がありました。

しかし、その多くが不倫関係での妊娠相談や男性からの「彼女が堕胎してくれない」といった相談で、当初想定していた若年妊娠ではなかったことが大きな想定外でありました。

途方に暮れている妊婦に、寄り添ってサポートしていこうと思っておりますが、不倫関係での妊娠では「産んで育てる」という選択肢をなかなか推奨できない状況にありましたので「産んで、託すのはどうか」と提案すると、連絡が途絶える、という事になりました。全ての相談者が2、3度のやり取りで返信しなくなりました。

要支援者の支援がなかなか容易ではないことを学び、一度想定を見直し、熟考する必要があると感じております。10代へのアプローチを考えていくか、若しくは不倫関係での妊娠にも対応していく事を考えていくか、大きな課題ですが考えていきたいと思っております。命を守っていくために。



▲ 東大寺にて開催した地域フォーラムの様子